

## 活 用 技 術

平成 2 1 年度

## 多雪地域におけるくりのカツラマルカイガラムシ幼虫の発生活長と防除適期

[ 要約 ] 新潟県の多雪地域におけるくりの新規発生害虫カツラマルカイガラムシは、年 2 世代発生し、薬剤防除適期である 1 齢幼虫発生盛期は、第 1 世代が 7 月第 3 半旬前後、第 2 世代は 9 月第 3 ~ 1 0 月第 1 半旬である。

農業総合研究所園芸研究センター 環境・施設科

連絡先

TEL 0254-27-5555

FAX 0254-27-2659

## [ 背景・ねらい ]

近年県内への侵入が確認され、くりで多発被害が出ているカツラマルカイガラムシについて、現在発生している多雪地域ほ場における 1 齢幼虫期を明らかにして薬剤防除適期を示し、被害を未然に防ぐ。

## [ 成果の内容・特徴 ]

- 1 カツラマルカイガラムシは年 2 回発生する。( 図 1 )
- 2 第 1 世代の 1 齢幼虫は 7 月第 1 ~ 第 4 半旬に多く、ピークは 7 月第 3 半旬ころで、発生時期の年次変動は少ない( 図 1 )。本種の防除適期は、カイガラを持たずに移動する 1 齢幼虫期でありこの時期に登録農薬を散布する。
- 3 第 2 世代 1 齢幼虫は 9 月第 3 半旬ころから増加し、9 月第 3 ~ 10 月第 1 半旬がピークとなる。時期は 15 日程度の年次変動があるので、薬剤防除はこの時期に幼虫の発生状況を確認してから行う。( 図 1 )
- 4 発生量は年次・世代間で変動が大きいので、前年低密度であった場合も発生の増加に注意する( 図 2 )。

## [ 成果の活用面・留意点 ]

- 1 上記は小型粘着板トラップを用いた平成 18 ~ 20 年の現地多雪地における調査の結果による。小型粘着トラップ調査については、平成 18 年度活用技術「小型粘着トラップ利用による果樹マルカイガラムシ類の発生時期把握」を参照する。
- 2 本種は雌成虫が直接幼虫を産下する卵胎生で、第 2 世代幼虫は、年内は 2 齢に発育せず越冬に入るため越冬期の休眠期防除剤の散布も有効である。
- 3 現在少雪地域では確認されていないが、分布が拡大した場合、発生時期は上記多雪地域とは異なると推察され、調査が必要である。

[ 具体的データ ]

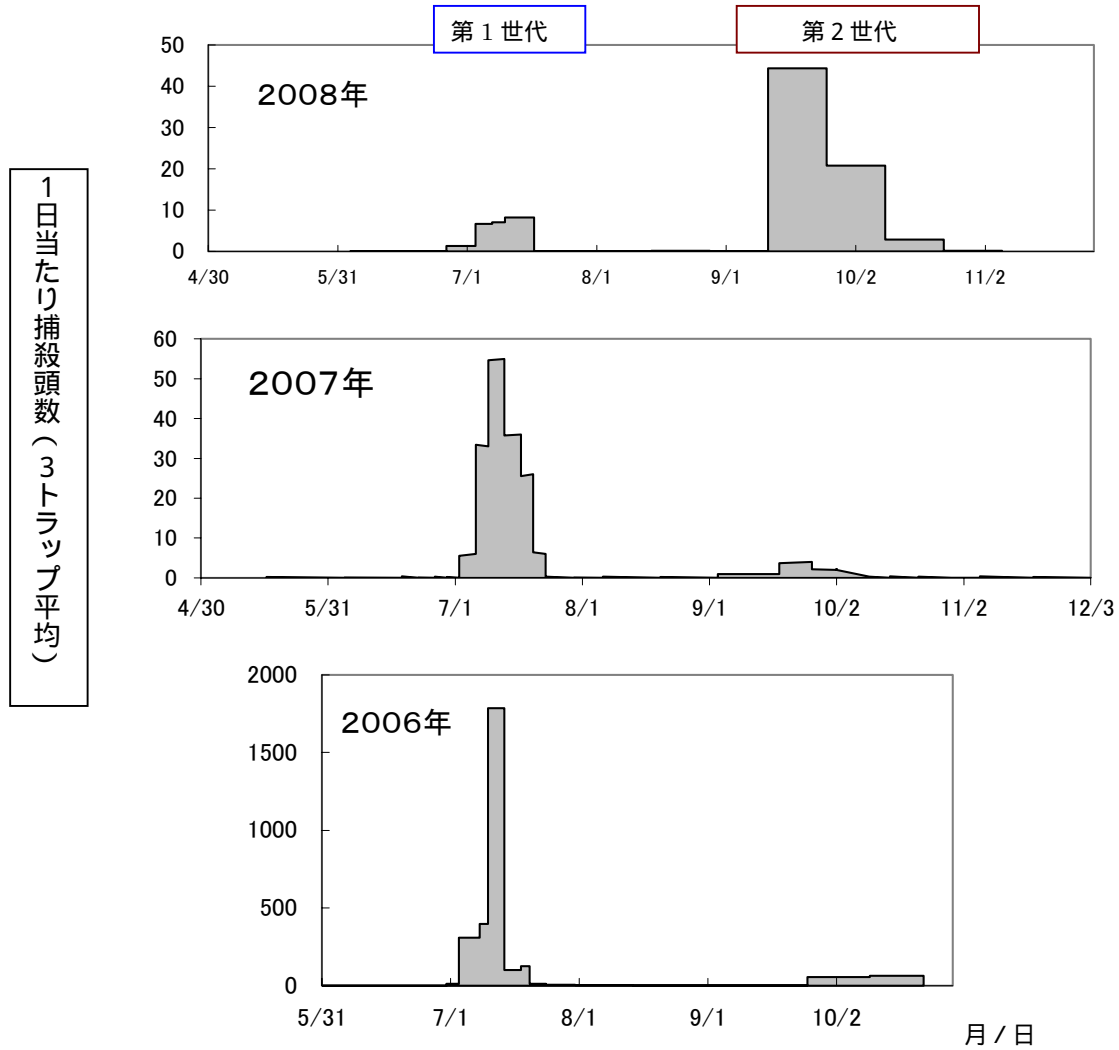


図1 カツラマルカイガラムシ1齢幼虫のトラップ捕獲消長 (A町、くりほ場、小型粘着板トラップ、3箇所平均値)

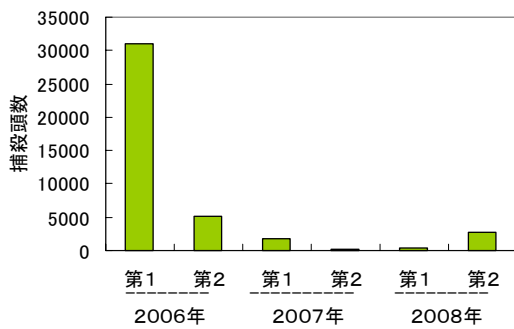


図2 3年間の世代別捕殺数の推移(A町)

(7～8月を第1世代、9～11月第2世代として集計)

[ その他 ]

研究課題名：園芸作物の総合的病害虫管理技術の開発

予算区分：県単経常

研究期間：平成18～20年度

発表論文等：なし